

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年8月30日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関する事</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関する事</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;令和4年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰りだよ！親子忍者大会外伝～香北のかいぞく～</li> <li>・日帰りだよ！親子でピザ職人 高学年</li> <li>・日帰りだよ！親子でピザ職人 低学年</li> <li>・日帰りだよ！親子で麵職人</li> <li>・日帰りだよ！プチ!!親子避難生活体験</li> <li>・日帰りだよ！ちびっこ忍ジャー</li> <li>・めざせ!!やなせたかし先生</li> <li>・青年リーダー研修</li> </ul>		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通して心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡          別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡          研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修室 3室(定員20名,80名,120名)</li> <li>宿泊室 定員127名</li> <li>浴室3室</li> <li>野外炊飯場 3箇所 定員300名</li> <li>ランニングコース 1コース 1.7km</li> <li>オリエンテーリングコース 1コース 10km</li> <li>ウォークラリーコース 2コース 5km</li> </ul>		
職員体制	<p>【R4当初】</p> <p>職員:所長1名 会計総務部長1名 会計総務部1名 指導主任1名 指導員3名 調理主任1名 調理員3名 警備宿直3名 合計:14名</p>		

## 2 収支の状況

(単位:円)

		R03年度(決算)	R04年度(決算)	R05年度(予算)
収入	県支出金	41,453,000	41,830,000	42,660,000
	事業費収入	208,622	329,333	389,000
	収入計	41,661,622	42,159,333	43,049,000
支出	事業費	917,312	1,199,325	1,290,000
	管理運営費	16,156,749	13,425,944	12,433,000
	人件費	20,800,160	23,701,417	25,413,000
	消費税	3,787,401	3,832,647	3,913,000
	支出計	41,661,622	42,159,333	43,049,000
使用料収入		505,824	613,081	1,306,000

### 3 利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
利用者数	15,478	12,681	3,927	4,664	5,381	8,426
利用団体数	166	132	67	80	102	109
宿泊者数	6,570	5,431	1,032	1,343	1,774	3,230
宿泊稼働率	24.9%	23.2%	7.8%	9.8%	12.6%	15.7%

### 4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用目標は達成している。</li> <li>・高校生等のボランティアとの関係も良好である。</li> <li>・日帰りプランの充実を図ったり、主催事業内容をコロナ対応にアレンジして実施するなど工夫が見られる。</li> <li>・効果的なPR活動として、直接小学校に対してチラシなどを配布し、学校との連携もとれている。</li> </ul> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画の広報・情報発信に対する利用者のアンケート結果はチラシの効果が絶大の様子で、学校経由のチラシに注目度が高いことがうかがえるが、その他のSNSやホームページなどの情報発信ツールについてはその浸透度や注目度に課題がある。高校生や大学生など義務教育学校以外への情報発信についても対策を講じてほしい。</li> </ul>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なPRの実施を進めている。</li> <li>・ホームページの充実も図っている。</li> <li>・学校等へポスターやチラシを配布している。</li> <li>・リピート率向上の取組(事業案内)も推進できている。</li> <li>・コロナで離れた利用者をどのように戻すかについて積極的に分析・検討して広報に活用している。</li> <li>・職員の資質指導力の向上として各種研修会や学習会に直接参加したり、職員の対応などサービスの向上が図られている。</li> <li>・緊急時の連絡体制も充実している。</li> </ul>
③施設の運営について	<p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化した個所の修繕の実施ができた。</li> <li>・コロナが原因で他施設に移った団体の呼び戻しに取り組んでいる。</li> <li>・本館2階トイレの手洗いを自動水洗に取り換えたり、利用者への手洗いの指導と手指消毒の徹底や、利用団体の退所後に速やかに清掃・除菌を行うなど、新型コロナウイルス感染拡大予防策に取り組み、できる限り主催事業を開催した。</li> <li>・事務処理の手順の確認・徹底、適正な人員配置、エネルギー管理標準の作成など、業務改善に取り組んだ。</li> </ul> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内で提供する食事について、食中毒や異物混入などの衛生事故を起こさないように対策を講じているかどうか不明。不慣れな方が調理補助に従事したり、いつもと違う食材や調理工程をとるとき、新しい調理器具を導入したときに特に事故は起きやすくなる。毎日の点検や事故防止のための厳重な衛生管理体制の構築と運用を求める。</li> <li>・緊急事態発生時を想定した訓練で明らかになった課題について、対策を講じてほしい。新しい職員が不慣れであった、だからその職員に教育する、は後手の対策である。新しい職員が入職した際の研修の段階で、施設や利用者の安全に影響を及ぼす項目など重要事項を教育したり、訓練をした後に勤務開始する、という新入職員研修の仕組みが必要。その研修には経験者も参加して、全員で危機管理や危険予知に関する目線を合わせることが重要。</li> </ul>

④利用実績	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊者数目標及び利用者数目標を達成した。</li> <li>・利用者が増加しており、施設の努力が具体的に分かる。</li> </ul> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊稼働率の計算式が、稼働できる部屋に対して利用されている部屋の割合になっているが、部屋の稼働率を見るのか、利用している利用者人数に対する宿泊者数の割合を見るのか、あるいはその両方を見るのか、県と施設管理者との間で検討が必要。この施設の利用状況を評価するために必要な数値指標をどう取るのが正解なのかについてぜひ検討して、来年度の事業評価票の項目から修正できる部分を修正してほしい。</li> </ul>
⑤収支の状況	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算内で運営できている。</li> <li>・宿泊稼働率の増加に比して管理運営費が抑えられている。</li> </ul>
総合評価	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止に努め、業務改善に取り組み、適切に管理運営を行った。一番人気の忍者大会について、接触感染防止等の工夫をして実施している所はよく考えられている。</li> <li>・利用者の満足度もアップしている。</li> <li>・事業の安定的開催に向けたボランティア集めも評価できる。</li> <li>・①提供する食事の衛生管理について(前記のとおり)</li> <li>・②緊急事態発生時の初期対応や避難誘導など職員の動きについて(前記のとおり)</li> </ul> <p>以上の2つの点について今年度内に具体的な改善と次回の評価委員会での報告を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は災害時の訓練の充実や新人指導者の育成に取り組んでほしい。</li> </ul>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。